

■ 特許調査支援

- ①テーマ調査(研究開発テーマ選定時等)
 - ・テーマに沿って、公開特許、登録特許を調査し、技術分類区分、年度別、出願人別等で提示します。
- ②先行技術調査(出願前、審査請求前等)
 - ・出願前のアイデア段階での調査、審査請求前での調査を実施し、登録の可能性に関する提言を行います。
(出願前の相談に関しては、秘密保持契約を締結した後、実質的な内容を開示頂き相談に入ります)
- ③無効化資料調査
 - ・無効審判請求対象案件に関して、特許文献・非特許文献等から無効資料の調査を実施します。
- ④抵触性調査
 - ・具体的に商品(自社開発品あるいは他社製品)と、把握されている関連特許・技術を提示いただき、ポイントを明示いただいた後、調査実施、報告書を提出させていただきます。
- ⑤特許マップ作成
 - ・ご要望に沿って、特許調査を行い、特許マップとしてご報告させていただきます。
- ⑥特許調査ツール操作支援
 - ・特許調査ツール(J-PlatPat、PatentSQUARE、Hypat-i2 等) の使用方法のご説明させていただきます。
 - ・独自に検討された検索式に関して、有効性、効率性を分析評価させていただきます。

■ 特許の分析・価値評価支援

- ①権利範囲の広さ、審査経過情報、技術分野別情報、及び市場ニーズの大小規模等も考慮し、特許の価値を評価、点数化する
- ②「点数」を元に、外国出願すべきか否か、審査請求の要否、他社にライセンスすべきか、放棄すべきか否か等に関して評価をさせていただきます。

■ 大学・企業の技術移転支援

- ①大学・企業が保有する多数の特許を対称に特許価値評価、点数化を実施し、これをベースに保有特許のランキング付け、技術移転の可能性、技術移転取組みの優先順位等の分析・評価実施
 - ②ランキング上位を中心に、技術移転先候補会社を探索し、リスト作成(技術移転可能理由の明確化)
 - ③技術移転元の情報調査・分析
 - a) 発明者、後任者の活動状況調査
 - b) 技術の実現程度調査(試作品の有無、完成品の有無等)
 - ④大学人・企業人の既存の人脈、ネットワークも考慮しつつ、技術移転先候補に対して提案活動実施
 - ⑤ライセンス・譲渡形態の協議、及び移転費用等も含む契約業務、事務処理作業支援
- ※ 必要に応じて、Japa日本専門家活動協会お「産学連携支援」事業と共同で実施いたします。

■ 特許戦略策定支援

- ①研究活動情報と特許出願、登録情報とを分析し、知財力強化活動の戦略策定支援

■ その他のご支援

- ①商標・意匠等、知財関連の各種ご相談をお受けいたします。

【担当窓口：高田 雅弘 (株)FellowLink 知財・技術支援事業部】